

公益社団法人日本技術士会鹿児島県支部

第43回 CPD 講演会（九州本部 CPD・建設系 CPD 登録済）

(1) 13:30~15:00 九州本部 2408102801A1-1

『鶴田ダムに関する最近の話題』

上村 雅文氏（国土交通省九州地方整備局鶴田ダム管理所長）

(2) 15:15~16:45 九州本部 2408102802A1-2

『IoTを支えるネットワークを考える』

馬場 伸一氏（第一工科大学 教授）

日時：2024年8月10日（土） 13:30~16:45（途中休憩15分）

会場：かごしま県民交流センター大研修室1（3F）

会費：日本技術士会会員 1,000円

非会員 1,500円

大学生・高専課程生 無料

CPD単位：3.0単位

定員：80名（先着順）

【参加者条件】

② 事前予約者のみ参加できます。

② 講演中のマスク着用は任意です。

申し込み締め切り 8月2日（金）12時

* 申込定員に達した時点で募集を締め切ります。

* 参加確定者には、8月4日（日）に参加案内及び注意事項をメール配信

*他学協会の受講証明書については、【試行】として、主催者が発行します。

申し込みフォームで【申請者情報】を入力してください。

【第43回 CPD 講演会等申込み先】

鹿児島県支部 HP、下記 URL、または
右記 QR コードから申し込んでください。

<https://forms.gle/rUbwo2XX2uaRSi567>



講演概要

■講演（1）

講演タイトル：「鶴田ダムに関する最近の話題」

講師：上村 雅文氏（国土交通省九州地方整備局鶴田ダム管理所長）

講演概要：

鶴田ダムは、川内川本流の中流域に位置する九州直轄ダムとして一番古く、堤高、有効貯水容量ともに最大規模のダムである。治水・発電で絶大な効果を発揮している。平成18年洪水において緊急放流を実施し批判を浴びたことや、有効なダムサイトの減少、ストック効果の最大化、近年の気候変動への対応等の背景から、技術を駆使して日本最大級の再開発事業をいち早く実施している。平成18年水害以降、地元との信頼関係を構築し相互理解を深めるための意見交換会を継続中である。

近年の降雨予測技術の進展等を踏まえ、ダムの運用変更によりカーボンニュートラルに資する増電の試行を始めたところである。さらに、水源地域振興の取組としてインフラツーリズムに本格着手している。以上のように、様々なダムへの期待に技術的に対応するための取組を紹介する。

キーワード

ダム管理, 河川管理, 河川法, 再開発, 地域対話, カーボンニュートラル

■講演（2）

講演タイトル：「IoTを支えるネットワークを考える」

講師：馬場 伸一氏（第一工科大学 教授）

講演概要：

デジタル・トランスフォーメーション（DX）を実現するために、データの収集や機器の制御を支援するのがモノのインターネット、いわゆるIoT（Internet of Things）である。インターネットの普及と共に、IoTは新しいデータを収集・提供する手段を実現することにより、新規サービスの開発や既存サービスの改革に貢献し、適用範囲を拡げてきた。このIoT普及の過程で、無線ネットワークにおいて、IoTに適応させた複数のシステムが開発された。また、既存の携帯電話システムや無線LANもIoT向け利用への拡張を進めている。この結果、無線ネットワークの選択肢が増え、IoTシステムの設計でどのネットワークを用いるかは、難しい問題となっている。

本講演では、IoTシステムの動向と、IoT向け無線ネットワークを整理し、IoTを支えるネットワークの要件を再度考える。その際に、今後のIoTで重要となるアクチュエータのサポート、つまり機器の制御やサービスの実行の観点も含めた議論とすることで、IoT利用や開発の一助としたい。

キーワード

DX, IoT, ネットワーク, 省電力通信, 低遅延通信